

2023年7月30日(日)第五主日礼拝

イザヤ書46章1～13節

『わたしは背負う』

序論:

①『あしあと(Foot Prints)』の詩について

②神に背を向けていったイスラエルであっても、神はご自分の民を見捨てられない。

本論:

1. 神は私たちが永遠に背負われる

①偶像の神々についてどのように言っていますか(1～2節)。

②イスラエルの神についてどのように言っていますか(3～4節)。

③「年をとっても…白髪になっても」とは、人生の最後の最後に至るまでという意味。

2. 神はご自身の計画を実現する

①イスラエルの神は、なぜ偶像の神々と同等に置かれることを否定されるのですか。

②「背く者よ」とは、具体的にどのように人のことですか。

③人はどんなに思い巡らしても、結局、神は私たちの最善の道を実現される方である。

3. 神は特別な祝福を備えておられる

①「頑なな者たち」「正義から遠く離れている者たち」とは、どういう人たちのことですか。

②「わたしの義…」「わたしの救い…」「わたしの栄え」とは、どういふものですか。

③神は最初にアブラハムを召し、彼の続くイスラエル民族を通して、全世界を祝福しようとされた。

まとめ:

あなたは今日のメッセージから何を教えられ、どんな決心をされましたか。